

# 学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 5月号

令和5年 5月 2日

校長 大越 敏孝



## 子どもを中心とした教育活動に向けて



新学年がスタートしてから1か月が過ぎました。入学式では、ちょっぴり緊張していた表情の1年生も小学校生活に慣れてきたようです。校内で私とすれ違う時には「校長先生!」「こんにちは!」と、笑顔で声をかけてくれる子がたくさんいます。私も笑顔で言葉を返しながら、とても温かく嬉しい気持ちになっています。

4月7日(金)の入学式では、1年生に頑張してほしいこととして2つお話をしました。

1つは、「元気に挨拶すること」です。先生やお友だち、初めて会う人とも挨拶をすると仲良くなれることや、挨拶は「心と心をつなぐ魔法の言葉」だということを話しました。そして、先生やお友達としっかり挨拶をして、たくさんの人と仲良くなってほしいことを伝えました。当日は、登下校の時に子どもたちを見守ってくださっている「あいさつ見守り隊」の皆様を来賓にお迎えし、私の話の中で緑色のベストを羽織って手を振って、励ましとお祝いの言葉をいただきました。1年生は、そのことをしっかり覚えていて、朝の通学路で自分から進んで挨拶する子がとても多いようで、見守り隊の方から上手な挨拶をたくさん褒めていただきました。

もう1つは、「お話をしっかり聴く」ことです。耳で聞くのはもちろんですが、「目で聴く、心で聴く」ことを大切にしてほしいと話しました。まず話し手に注目し、しっかり耳で聞いて、話し手が何を伝えようとしているのか考える。その気持ちも心で受けとめながら聴いてほしいと思っています。

学校の教育目標「のばす・つなぐ・ささえあう」(子どもたちの力をのばし、つなげ、互いにささえあう)ための基本として、まず「聴く」ことを大切にし、「目で聴く・耳で聴く・心で聴く」ことができるようになってほしい。そして、よく考え、表現する力を身につけてほしいと思います。これは、1年生だけでなく、2年生から6年生にも同じことを伝え、学校全体で指導しているところです。

さて、入学式では、ちょっと緊張していた表情の1年生も、小学校の生活にだいぶ慣れてきたようです。

休み時間には、校庭で黄色い帽子をかぶってのびのびと遊ぶ姿も見られるようになりました。各学年とも近隣の公園や海岸などに出かけたり、学年を越えて集会を行ったりして、学習活動の幅を拡げています。コロナ禍で活動を制限させることが多かった学習活動や行事についても、改めて子どもたちが主体的にかかわり、自ら考え表現できる力を育む活動にしていきたいと考えています。また、そのために保護者・地域の皆様には、授業参観だけでなく様々な学習や行事など汐見台小学校の教育活動に参加していただきたいと考えています。子どもを中心とした学校づくりに向けて、保護者・地域の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

\*保護者の皆様には、「学校説明会」の資料を家庭数で配付させていただいております。そちらもあわせてご覧ください。



「1年生の学校探検」

6年生が自分たちで考え、趣向を凝らして、校内を案内してくれました。

## 創立記念行事『航空写真』人文字撮影に参加しませんか

コロナ禍で実施できなかった汐見台小学校開校10周年の記念行事。今年度は創立記念行事としてPTAのご支援をいただいて実施します。その第1弾としてセスナ機から人文字の航空写真を撮影します。人文字のデザインは、昨年度の6年生が実行委員となり図案を児童に募集し、全校児童で投票して選ばれたものをもとにしてできあがったものです。当日は全校児童で人文字を校庭に作り上空から撮影します。保護者・地域の皆様もぜひご参加いただき、汐見台小学校にかかわるみんなで人文字を完成させたいと考えています。ご協力をよろしくお願いいたします。

日時：令和5年5月11日(木) 9:30集合

\*校庭の朝礼台前にご集合ください。

\*所要時間は、約40分 10:15頃解散

\*荒天の場合は、延期(延期の場合はメールにてお知らせします。)

場所：汐見台小学校 校庭



ご参加を  
お待ちしております

